

らくだ図書館

常木らくだの小説投稿ブログ



● 常木らくだ ●

転職が決まりました - 2019.04.01 Mon

こんにちは、らくだです。

投稿と関係ない話で恐縮ですが、転職活動がようやく実を結び、5月から税理士事務所で働くことが決まりました。

4月1日の記事ですが本当の話です。
というかこれが嘘だったら私が泣きます。

ああそうだ。
ついでに愚痴っていいですかね。

今の仕事は派遣だから、自分は固定の席がなくて、毎日その日休んだ人の空席を使ってるんですよ。

そしたら先日、社員さんのボールペンがなくなって、前日その席に座っていた私が盗んだんじゃないかって疑われて。

これ意味わからなくないですか？
ただでさえ席がなくて不便な上に泥棒扱いですよ？

なお真相は、横の人が間違えて持って帰っただけで、事件でも何でもなかったんですけど、特に謝罪もなくそのままスルーっていう。

派遣差別ひどすぎる。
いや派遣でもまともに扱ってくれる会社はいっぱいあるけど。

とにかく今の職場には不満があったので、納得できる条件で転職できるのが嬉しいし、令和が始まる5月から心機一転がんばりたいと思っています。

以上、投稿とは無関係な近況報告でした。

こんにちは、らくだです。

3月末はビーンズの締切でした。
投稿された皆様はお疲れ様でした。

なんて思っていたら早くも来年の応募要項が。
いくつか大きな変更があるので紹介しておきます。

【第 19 回角川ビーンズ小説大賞】

<https://beans.kadokawa.co.jp/award/19th-award/entry-1549.html>

応募方法は以下の 4 通り。

4 パターンもある賞はなかなか珍しいと思います。

- ・ 郵送応募
- ・ ウェブ応募
- ・ カクヨム応募
- ・ 魔法の i らんど応募

カクヨムは前から OK なので魔法の i らんどが追加された感じですね。
この変更でこれまで以上にバラエティ豊かな作品が集まりそうな予感です。

あと郵送応募の字数が「10 万字以上 15 万字以内」へ変更になりました。

ウェブ応募と揃えた結果だと思いますが、枚数指定から字数指定に変わっているので、今まで枚数基準で書いていた人は要注意。

なおカクヨムと i らんどの応募詳細は未発表で、4 月中旬ごろに公開されるそうなので、アップされたらまた紹介したいと思います。

こんにちは、らくだです。

近ごろ一日三食しっかり食事をするようになったせいか、精神疲労で激減した体重が以前の状態まで回復しました。

食事は本当に大事ですね。
当たり前だけどそれを実感する経験でした。

さてさて。
今回は食事つながりでこの話題。

コバルトで開催された「とっておきの一皿小説賞」の結果発表がありました。

【とっておきの一皿小説賞】
http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/special_1_dish_result/

さっそく選評を読みましたが、やはり今回はお題がお題だけに、ほっこりできる作品が多かった模様です。

食は人間の三大欲求と書いてありますが、確かに美味しい食事って、食べた人を無条件に幸せにするというか。

まあ自分は料理ニガテですけどね……。
それも一因となって離婚しましたけどね……。

ちくしょう！
せっかくほっこりしてたのに台無しだ！
(自分で言って自分でキレル)

もちろん離婚はそれだけじゃないですが、何はともあれ心温まる気分になりたい人は、ぜひ結果をチェックしてみてください。

こんにちは、らくだです。

小説家になろうが 4 月 2 日で 15 周年を迎えました。
それを記念して様々な企画が今後開催されるようです。

カクヨムは 3 周年ですが、なろうはもう 15 周年だと考えると、なんというか深い歴史を感じずにいられません。

【小説家になろう 15 周年】

<https://blog.syosetu.com/?itemid=4029>

15 周年企画の一環として大規模なサイトリニューアルを 5 月末に実施するとか。

ただし変わるのはインデックスだけで、閲覧ページや執筆ページは変わらないので、変更後も戸惑うことなく使えそうです。

他にも先日紹介したラジオ放送や、参加型リアルイベントの開催など、盛り沢山の企画が準備されている模様。

ちなみに小説家になろうの運営会社って枚方市なんですよ。大阪開催だったらリアイベ参加したいですがまあ普通に東京でしょうね。

それから求人情報も公開されました。
こちらは書き手の皆様には関係ないかもですが一応リンクを。

【求人情報のお知らせ】

<https://blog.syosetu.com/?itemid=4027>

なろうも長い歴史の中で色々あったと思いますが、ネット小説界のパイオニアなのは間違いないですし、これからも引き続き発展して行って欲しいです。

第 199 回コバルト短編の結果- 2019.04.05 Fri

こんにちは、らくだです。

第 199 回コバルト短編小説新人賞の結果発表がありました。

以下リンク。

入選者様はおめでとうございます。

【第 199 回結果】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/newface-award/no199/>

選評の中で気になったんですが「この作者は過去何度も投稿してくださっていて今回ついに最終まで来てレベルアップしている」という言及があるんですね。

これは言われたら嬉しいんじゃないでしょうか。

今までの努力がしっかり認められた感じというか。

それにしても最終常連ならともかく、そうでない投稿者のこともはっきり覚えているなんて、選ぶ側はこちらの想像以上に一人一人の投稿歴をちゃんと見ているのだなと感じました。

そしてもう一つ。

2018 年度の結果が出揃って年間最優秀賞が発表されました。

こちら編集者の選評あり。

もちろん作品本文も公開されています。

【年間最優秀賞】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/newface-award-2018/>

コバルト短編もついに次回で 200 回ですが、定期開催されている短編の賞は多くないですし、これからも更に発展して行って欲しいです。

こんにちは、らくだです。

久し振りにブログの閲覧数を確認したら先週のアクセスが普段より大幅に減っている件。

いったい何故だ！

やはり股間の第2ボタンの話が悪かったのか！

いやまあそれも悪いとして、更新が不安定なのが一因かと思われるので、出来る範囲で安定させられるように努めます。

閲覧数といえば、毎月200程度のPVがあったブログのパブー配信ですが、4月3日に運営会社からサービス終了の発表がありました。

一応リンク。

これに伴い当ブログのパブー配信も終了します。

【パブー閉店のお知らせ】

<http://p.booklog.jp/book/385/read>

電子書籍の配信といっても、ここに書いた内容を1か月遅れでまとめていただけなので、特に影響はないのですが。

それでも有り難いことに、毎月見てくださっていた方がチラホラいたみたいなので、念の為お知らせでした。

なんだかんだ続けてきたことなので寂しいですが、何事にも終わりは訪れるものですし、その分また新しい活動にチャレンジしたいですね。

以上、らくだ図書館パブー版配信終了の告知でした。

こんにちは、らくだです。

全国各地で桜が見頃を迎えています。
そして乗り遅れましたが新元号も決まりました。

ここに散々書いている通り、私の平成は完全にブラックヒストリーですが、令和と共に心機一転して巻き返しをはかりたいです。

さてさて。
4月上旬といえば電撃の追い込みの時期。

ウェブ小説が台頭したものの、従来の公募型のコンテストで最大規模なのは電撃ですし、応募予定の方も多と思います。

特に今日は締切前の最後の週末。
投稿しない自分が言うのも凶々しいですが最後まで諦めずに頑張りましょう。

【電撃大賞・応募要項】

http://dengekitaisho.jp/novel_apply.html

今は昔と違ってウェブ応募できるので、4月10日の深夜ギリギリまで粘れますが、アカウントは余裕を見て事前に作っておきたいですね。

あとウェブ応募でやりがちなアップロード間違い。
電撃は追加アップロードを認めているようですが事故は避けたいところです。

【電撃大賞・よくある質問】

http://dengekitaisho.jp/novel_question.html

電撃の1次発表は投稿界最大の祭り。
今年は皆様を応援する立場で参加したいと思います。

こんにちは、らくだです。

カクヨム 3 周年記念選手権ですが、本日全 10 回の発表が出揃ったので、応募数とお題をまとめてみました。

<各回の応募数とテーマ>

- ・ 第 1 回 593 本『切り札はフクロウ』
- ・ 第 2 回 636 本『2 番目』
- ・ 第 3 回 592 本『シチュエーションラブコメ』
- ・ 第 4 回 696 本『紙とペンと〇〇』
- ・ 第 5 回 595 本『ルール』
- ・ 第 6 回 578 本『最後の 3 分間』
- ・ 第 7 回 613 本『最高の目覚め』
- ・ 第 8 回 447 本『3 周年』
- ・ 第 9 回 428 本『おめでとう』
- ・ 第 10 回 428 本『カタリ』 or 『バーグさん』

安定して 500 作品を超えていたので、この調子で最後まで行くのかと思いきや、ラストの 3 回でやや失速する結果に。

各回の応募期間が実質 2 日でしたし、特に後半は年度末にも重なったので、10 回連続投稿はやはり厳しかったのかもしれない。

とはいえ、そんな中でも 400 を超える応募が集まったわけですし、今回の 3 周年企画は大成功だったんじゃないでしょうか。

こうしてリアルタイムで盛り上げられる部分は、ネット小説ならではの魅力かなと思いますし、これからも楽しい企画を開催して欲しいですね。

以上、カクヨム 3 周年記念選手権の話題でした。

こんにちは、らくだです。

週末にお花見へ行ってきました。
気温も暖かくとても気持ちのいい一日でした。



四季のある国の必然かもしれませんが、こうやって桜を見ると、どうしても去年を思い出してしまいます。

去年の4月は最悪でした。
いや去年はずっと最悪でしたが中でも最底辺だったのは4月です。

息子を失ったのは1月なんですが、その直後は自分でも不思議なくらい、悲しいという感情が心に存在しませんでした。

それより怒りの方が遥かに大きかったというか。
こんな現実認められないという拒絶反応だったのだと思います。

冬の間はそんな感じだったんですが、ようやく3か月たって身辺が落ち着いた頃、かつて経験したことのない悲しみが襲ってきて、それがちょうど桜の時期と重なっていたという。

でも、今年は去年とは違います。

あの悲しみが消えることはないけれど、今年の桜には最底辺から立ち直った記憶も付加されているわけで、それは私の中で大きな自信になっています。

結局それしかないですよ。
何をやってもあの悲しみが消えることはない。
それならそれに匹敵するくらい楽しい記憶を増やしたらいい。

何だかシリアス、そしてポエムチックになりましたが、たまにはこんな日もあるということで、花見で感じたあれこれを心のままに書いてみました。

こんにちは、らくだです。

本日 4 月 10 日は電撃大賞の締切です。

投稿が無事に完了した皆様はお疲れ様でした。

まだ作業中の皆様も最後の最後まで踏ん張りましょう。

さてさて。

せっかくなのでここで過去の応募数を振り返ってみます。

<電撃の応募数>

- ・ 第 16 回 (2009 年) 4,602 本
- ・ 第 17 回 (2010 年) 4,842 本 (↑)
- ・ 第 18 回 (2011 年) 5,293 本 (↑)
- ・ 第 19 回 (2012 年) 6,078 本 (↑)
- ・ 第 20 回 (2013 年) 6,554 本 (↑)
- ・ 第 21 回 (2014 年) 5,055 本 (↓)
- ・ 第 22 回 (2015 年) 4,580 本 (↓)
- ・ 第 23 回 (2016 年) 4,878 本 (↑)
- ・ 第 24 回 (2017 年) 5,088 本 (↑)
- ・ 第 25 回 (2018 年) 4,843 本 (↓)

記念開催だった第 20 回が最大のピークで、そこから下がったり上がったり、ここ数年はなかなか読めない推移です。

なお今年は減少するだろうと個人的に予想中。

ネット小説の台頭もあるし、電撃自身もカクヨムで新文芸のコンテストをやっていたので、そちらへシフトした層も一定数いるんじゃないかと思うんですよね。

もちろん投稿者としては応募が増えて盛り上がって欲しいですが、何はともあれ 6 月上旬の応募数発表を楽しみに待ちたいと思います。

仕事で回ってきた書類に「角煮んちゅ」と書いてあったから、意味がわからず人に聞いたら、単に「確認中」のタイプミスだったという残念なオチ。

角煮んちゅ……。

沖縄の伝統料理かと思ったわ……。

PCで文字を打っていると、手書きではあり得ない誤字・脱字・誤変換が発生する時があるので、充分気を付けたいですね。

さてさて。

誤字といえば小説家になろうには誤字報告機能が実装されています。

自分は恥ずかしながらこの機能の存在を知らず、本日のなろうブログを読んで初めて知りました。

【誤字報告について】

<http://syosetu.com/man/novelreport/>

いや待って！

なろう作品いくつか読んでるけどこんなリンク見たことないよ！

と思ったら、誤字報告を受付するかどうかは、作者側で任意に設定できるようになっているみたいです。

しかしこれ便利ですよ。

カクヨムにもこの機能は是非実装して欲しいところ。

小説を書いていると誤字脱字は出るものですが、あまりにも変なミスは読み手も萎えてしまうので、自分もしっかり気を付けたいと改めて思いました。

こんにちは、らくだです。

タイトルに書いた通り Web マガジン Cobalt が大規模なサイトリニューアルを実施するようです。

新サイトは 5 月 10 日公開予定。

詳細は下記お知らせをご覧ください。

【サイトリニューアルの告知】

http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/cobalt_renewal_lp/

3 年振りの全面リニューアルですが、我々投稿者に関係があるのは、パッと見た感じ以下の 2 点でしょうか。

1「小説を書くためのプチアドバイス」スペシャル企画

毎回紹介しているお馴染みの企画ですが、リニューアルを記念して、書き手から創作の質問を募集するとか。

応募方法は後日公開ですが、こんな機会はあまりないので、詳細が発表されたら私も質問したいと思います。

2 常設の短編小説賞も記念開催！三浦先生がお題を発表

普段はテーマ自由の短編小説賞ですが、リニューアル記念回では三浦しをん先生がお題を出し、それに沿った作品を募集するそうです。

しかし相手はあのコバルト。

ただ単に「恋愛」とかじゃなく凝ったお題が用意されそうな気がします。

以上、コバルトのサイトリニューアルの話題でした。

こんにちは、らくだです。

カクヨム 3 周年記念選手権の皆勤賞が発表されました。

全参加の榮譽に輝いたユーザーは 212 名。

下記リンク先に全員のお名前が載っています。

【KAC 皆勤賞】

https://kakuyomu.jp/info/entry/3rd_anniversary_all_result

応募数は毎回 400 本以上でしたが、皆勤賞が約 200 人ということは、個別に参加したユーザーが意外と多かったわけですね。

とにかく表彰された皆様はおめでとうございます。

10 回すべて参加し続けるのは簡単ではなかったと思います。

それと記事の中で言及がありますが、KAC のために有給を取得したユーザーや、フル参加なのに最後のタグはつけなかった勇者（？）もいたとか。

台詞で言うところのこんなイメージでしょうか。

「あいつ凄えな、皆勤賞だぞ」

「いや待て、最後の作品にタグがない……？」

「へへっ、俺は図書カードが欲しくて小説を書いたんじゃねえ。小説を書くのが好きだから小説を書いた。それだけのことさ」

まるで少年漫画の主人公……！

それはさておき、こういう企画をまた実施したいと書いてあるので、次はどんなイベントが開催されるのか 1 ユーザーとして楽しみです。

こんにちは、らくだです。

コバルトの連載企画「小説を書くためのプチアドバイス」が更新されました。

今回のお題は「説明と描写の違い」についてです。

なかなか難しい内容ですが詳細はリンク先をご覧ください。

【小説を書くためのプチアドバイス】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/write/column-miura-shiwon/003010/>

私もやりがちなんですが、読者に場所を提示するために「ここは保健室」と安易に書いてしまうのは、小説として悪手だそうです。

脚本ならそれでいいですが、小説を書いている以上は、見える景色も登場人物のフィルターを通して描写する必要があるわけで。

まあ確かにそうですよね。

いきなり場所を言うのは不自然ですよね。

普通の人わざわざ脳内で「ここは保健室」なんて思わないですからね。

とはいえプロの作家さんでも、そういう表現をする人は結構いるので、個人的な好みの問題もあるのかなとは思いますが……。

まあとにかく。

登場人物に寄り添って描写を工夫するのは大事です。

ベストな表現を目指して試行錯誤すれば文章を書く訓練にもなるでしょう。

自分もなかなか実践できていませんが、リンク先には具体的な例も色々と載っているので、皆様も是非チェックしてみてください。

以上、小説を書くためのプチアドバイスの紹介でした。

こんにちは、らくだです。

2019年夏、SNS等でお馴染みのLINEが、新たな小説投稿サイトをオープンする模様です。

【LINE ノベル】

<https://novel.line.me/>

そしてさらに。

サイトオープンに先駆けて令和小説大賞というコンテストを受付中。

受賞作品は書籍化と映像化を確約するとか。

詳しい応募要項は下記公式サイトをご覧ください。

【令和小説大賞】

<https://novel-award.com/>

- ・ 募集内容 オールジャンル
- ・ 規定字数 8万字～20万字（要完結）
- ・ 受付期間 2019年4月16日（火）～9月30日（月）
- ・ 結果発表 2020年3月予定
- ・ 受賞特典 賞金300万円&書籍化&映像化

新元号に積極的に乗っかっていくスタイル。

それはさておき、オープン前なのでサイトの方向性はわかりませんが、日テレとアニプレックスが協賛しているようですし、受賞作品の映像化には大きな期待ができそうですね。

以上、令和小説大賞の紹介でした。

こんにちは、らくだです。

今日やっと本屋へ行けて、今月の公募ガイドを見ましたが、はりきって応募したあいうえお作文は残念ながら不採用でした。

ちくしょう！

こんな屈辱は毎月のことだ！

まあ結果的に落選であれ、ドキドキしながら雑誌をめくる感覚は、投稿者だけが味わうことのできる特権ではないでしょうか。

というわけで。

懲りずに今月も挑戦します。

【公募ガイドファンクラブ】

<https://www.koubo.co.jp/reading/rensai/oubo/fanclub/fanclub.html>

お題「ゆすらうめ」

ゆ・夢を追い

す・過ごしたけれど

ら・落選で

う・失う自信

め・メンタルやべえ

悲観的？

いやでも発表後のワナビってこんな心境っしょ？

もちろんコレを投稿するわけではなく、応募時は前向きな作文を出してますが、それでもなかなか採用されないなので、引き続き鍛錬を続けたいと思います。

こんにちは、らくだです。

コバルトの人気連載企画「小説を書くためのプチアドバイス」が書き手の質問を募集中。

企画自体は発表済みですが、このたび具体的な応募方法が公開されたので、リンクを紹介しておきます。

【質問大募集】

<http://cobalt.shueisha.co.jp/contents/question-miura-shiwon/>

- ・ 募集内容 三浦しをん先生に対する創作の質問
- ・ 応募締切 2019年4月26日(金)
- ・ 応募方法 ツイッターのDM or 専用WEBフォーム

質問への返答は6月公開予定だそうです。

多数の場合はピックアップになるようですがそこは仕方ないですね。

そしてさらに。

質問者の中から抽選で1名に三浦先生のサイン本が贈られるとか。

昔のコバルトは結構サイン会があった気がしますが、近ごろは減っているので、ファンにとっては貴重なチャンスではないでしょうか。

なお応募するにあたって本名や住所は必要ないので、こんな初歩的なことプロに聞いていいのかな？という場合も、周囲に気後れすることなく自由に質問できそうです。

以上、「小説を書くためのプチアドバイス」質問大募集の紹介でした。

こんにちは、らくだです。

今回は小説投稿と関係ない雑談です。

突然ですが皆さま星座占いはお好きでしょうか。

自分はそのまで信じない派ですが、石井ゆかりさんの星占いを毎年チェックしていて、これが本当によく当たるのです。

2019年の年報はこちら。

もう4月ですが今からでも是非。

【2019年の年間空模様。】

<http://st.sakura.ne.jp/~iyukari/greenlight2019.html>

私は天秤座なのですが、今年の状況を一言で表現すると「長い放浪の旅が終わり安住の地へ辿り着く」らしいです。

放浪な……。

確かにしたわ……。

人生の迷子だったぜ……。

まあ占って抽象的な表現が多いですからね。

都合よく解釈して当たっていると信じることもできますよね。

ただそれを差し引いても、暗いトンネルをようやく通り抜け、人生の目的を見つけた今の自分にとって、この年報は確実に当たっていると思うわけです。

というわけで、特に面白いオチはありませんが、人にもオススメしたいくらいに当たるので、星座占いが苦手でない皆様は是非チェックしてみてください。

こんにちは、らくだです。

ノベル大賞の1次発表がありましたがお1人で23本も通過させた投稿者さんが存在し、コバルト界隈のみならず投稿者の間で大きな話題になっています。

【発表ページ】

<http://orangebunko.shueisha.co.jp/novel-award/result>

もうこれ伝説じゃね？

まだ1次だけど MVP 贈ろうぜ？

だってこれ、1年で23本書いたと仮定すると、半月に1本のペースで仕上げてるわけですからね。

しかもただ単に書き殴っただけじゃなく、すべての作品がノベルで1次通過するクオリティだったわけで、これはもう前代未聞の事件だと思います。

自分もこの意気込みを見習わなければ……！

時間ないとか言いわけしてる場合じゃない……！

ちなみに23作品に注目が集まりますが、今回は全体的に複数通過の投稿者さんが多く、1次通過数は471本という結果でした。

参考までに過去2年はこんな感じ。

- ・2018年 応募数 1,019本、1次通過 429本
- ・2017年 応募数 853本、1次通過 274本

2次発表は5月下旬頃の予定ですが、23作品の方が通過するよう、期待を込めて見守りたいと思います。

ハートビートが止まらない- 2019.04.20 Sat

こんにちは、らくだです。

来月から転職するにあたり、3か月以内発行の健康診断書が必要だと言われ、健康診断を受けてきました。

年末に人間ドック受けたんですけどね……。

あれから3か月以上すぎちゃってますからね……。

コホン。

まあとにかく。

今回は胃カメラないから楽勝だろと思ってたんですが、心電図の音量設定がおかしくて、ものすごい音量で自分の鼓動が部屋に響き渡るという。

いやちょっと！

音量下げてくださいませんかね！

待合室まで聞こえちゃうじゃないですか！

まあ別に気にしなきゃいいんですが、落ち着こうと自分で思えば思うほど、なんだか変な感じに緊張してしまい、結果的にすっぱー不安定な波形になりました。

なるほど……。

これが羞恥プレイの興奮か……。

ちなみに結果を見たお医者さん、

「ああ、あの心電図、緊張しました？ そういう人多いんですよー」

わかってるなら音量ちょっと下げてくださいでしたが、とにかく異常なしで通ったので無事に提出できそうです。

こんにちは、らくだです。

今年のゴールデンウィークは10連休です。
今から楽しみすぎて週末になるのが待ち切れません。

さてさて。
GW といえばビーズログ小説大賞が締切延長を発表しました。

あまり前例のない措置なので、正直ちょっと驚きなんですけど、詳細は公式サイトをご覧ください。

【締切延長のお知らせ】

<https://bslogbunko.com/news/editor/entry-10078.html>

旧締切：2019年4月30日（火）

新締切：2019年5月7日（火）

なるほど。
これはGWに追い込みしろってことですね。

わずか1週間ではありますが、締切前の7日間がいかに貴重かは、投稿者であれば誰もが知っていると思いますし、応募予定だった皆様には大きな朗報ではないでしょうか。

ていうか！
もっと早く教えてくれれば私も頑張ったよ！

まあ今からでは難しいですが（涙）、こういう可能性もあると学んだので、次回以降の教訓にしようと思いました。

こんにちは、らくだです。

ビーンズの応募要項がアップデートされました。

締切は来年3月なので遠い先ですが応募予定の方は要チェック。

【第19回角川ビーンズ小説大賞】

<https://beans.kadokawa.co.jp/award/19th-award/entry-1564.html>

追記内容を確認しましたが郵送とウェブ応募は変更ありません。

カクヨムと魔法のiらんどの応募詳細が新たに追加された感じです。

それぞれのリンクは以下。

ちなみにどの応募方法でも規定字数は同じです。

【カクヨム応募】

<https://kakuyomu.jp/official/info/entry/19th-award>

【魔法のiらんど応募】

https://maho.jp/beans_contest2019/

要項にはジャンル不問とありますが、魔法のiらんどの特設ページを見ると、学園ラブストーリーを特に推奨している印象です。

まあサイトによって得意分野がありますからね。

得意分野というか作品ジャンルの棲み分けというか。

そもそも運営側が複数の参加方法を用意したのも、応募作のバラエティを増やしたいというのが一因でしょうし、これをキッカケに投稿者が増えてくれたら嬉しいです。

こんにちは、らくだです。

HJ ネット小説大賞が今年も開催決定しました。

詳しい応募方法は下記の公式サイトをご覧ください。

【HJ ネット小説大賞 2019】

<http://hobbyjapan.co.jp/hjbunko/novelawards/netaward03.html>

- ・ジャンル 不問
- ・規定字数 締切時点で 10 万字以上
- ・受付期間 2019 年 4 月 24 日（水）～6 月 30 日（日）
- ・大賞特典 賞金 50 万円&書籍化& 3 巻までの続刊確約
- ・応募方法 なるべく作品を UP し「HJ 大賞 2019」のキーワードを設定

この賞の特徴は 3 巻まで出版確約という部分。

大賞 1 本限定ですがなかなか珍しい取り組みです。

あともう一つ、応募要項の中ではっきりと、他賞との重複応募を認めているのも珍しい部分かと。

自分は古い投稿者なので、重複応募は重罪みたいな感覚がありますが、近ごろは認める賞が徐々に増えてきて時代は変わったなと感じます。

この傾向は嬉しいですね。

受賞して書籍化を狙う以上、チャンスが多いに越したことはありませんし、これからも後続く賞がどんどん増えて欲しいと思います。

以上、HJ ネット小説大賞 2019 の紹介でした。

こんにちは、らくだです。

新元号が発表された瞬間、R18 がトレンド入りしたので、令和ちゃんがちょっと気の毒になりました。

いや R は「Restrict / 規制」の R だから、R 自体にエッチな意味はないというか、むしろ真面目な単語なんで許してやって……！（なぜか弁解）

さてさて。

今回は R18 関連（？）でこの話題。

えんため大賞の 1 部門の「e ロマンズロイヤル大賞」が今年も開催決定しました。

【e ロマンズロイヤル大賞 2019】

<https://www.enterbrain.co.jp/entertainment/eromanceroyal2019.html>

- ・ 募集内容 女性向け恋愛官能小説
- ・ 応募締切 2019 年 6 月 17 日（月）
- ・ 参加資格 18 歳以上（高校生不可）
- ・ 規定字数 連載作は 5 万字以上、最終選考までに 10 万字以上必要

他にもいくつか制約あり。

うっかり規定違反にならないよう注意です。

- ・ 舞台はファンタジー世界限定
- ・ 女性と男性の恋愛（ボーイズラブ不可）
- ・ 官能描写のあるキャラが 18 歳以上であること
- ・ 過去にこのコンテストへ投稿した作品は応募不可

なぜ R18 の賞がえんための 1 部門なのか不明ですが、今年もあるということは前回成功したのでしょうし、今後の動向を陰ながら見守りたいと思います。

こんにちは、らくだです。

もう3回目なのでお馴染みですが、カクヨムでドラゴンノベルス新世代ファンタジー小説コンテストが開催決定し、応募要項が発表されました。

【応募要項】

https://kakuyomu.jp/contests/dragon_novels_2019/detail

- ・ 募集内容 新世代のファンタジー小説
- ・ 受付期間 2019年5月7日（火）～6月30日（日）
- ・ 読者選考 2019年5月7日（火）～7月31日（水）
- ・ 規定字数 締切時点で本文10万字以上
- ・ 大賞特典 賞金30万円+書籍化（1名）

開催期間は約2か月。

受付開始はGW明けなのでフライングに注意しましょう。

それからカクヨム公式ブログの記事で、選考にあたるドラゴンノベルスの編集員さん3名が、それぞれの求める作品を語っています。

【求める作品】

https://kakuyomu.jp/info/entry/dn2019_editors_message

- ・ 編集 KW さん『地道にコツコツ。そして最強！』
- ・ 編集 KM さん『物語性を重視したダークファンタジー』
- ・ 編集 KS さん『異世界にはこだわらない。「青春」「不思議」作品』

もちろんこれ以外でもOKですが、方向性が決まっていると書きやすいですし、応募予定の皆様は参考にすると良いのではないのでしょうか。

こんにちは、らくだです。

本日『名探偵コナン〜ゼロの執行人〜』がTV放送されたわけですが、安室さんが格好いいと騒ぐTLを見て、前から好きな自分は「だろぉ？（ドヤ顔）」みたいな気分になりました。

ちなみに安室という名は、声優の古谷徹さんがガンダムのアムロ役なので、中の人つながりでつけたネーミングだそうですよ。

さてさて。

ガンダムといえばカクヨムで珍しいコンテストが発表されました。

【『アニメ新世紀宣言』体験談コンテスト】

https://kakuyomu.jp/contests/animec_2019/detail

募集内容

「劇場版・機動戦士ガンダム」公開直前の1981年2月22日に行なわれた伝説のイベント「アニメ新世紀宣言」の体験談

- ・規定字数 2,000文字以下
- ・受付期間 2019年4月26日（金）～6月9日（日）
- ・受賞特典 2019年夏頃刊行予定の雑誌「Animec」に掲載

1981年に開催されたイベントの体験談なので、応募できる人はかなり限定されそうですが、該当する方もしいらっしゃれば是非チェックを。

それにしても、初代ガンダムの主人公でありながら、今も第一線で人気キャラを演じている古谷さんは凄すぎると思います。

以上、『アニメ新世紀宣言』体験談コンテストの紹介でした。

こんにちは、らくだです。

カクヨムで GW イベント「チーム対抗 PV 争奪戦！～所属ジャンルを盛り上げろ！～」が開催される模様です。

詳細は下記参照。

投稿作品のジャンルを 3 つに分けて PV 数を競う企画です。

【チーム対抗 PV 争奪戦】

https://kakuyomu.jp/info/entry/kakuyomu_gw2019

チーム分けは次の通り。

それぞれマスコットキャラの名前がついています。

・カタリチーム

「異世界ファンタジー」

・バーグチーム

「現代ファンタジー」「ラブコメ」「恋愛」「SF」

・トリチーム

「現代ドラマ」「ホラー」「ミステリー」「エッセイ・ノンフィクション」「歴史・時代・伝奇」「創作論・評論」

「詩・童話・その他」

一見ジャンルの多いトリチームが有利に見えますが、実際は異世界ファンタジーが全体 PV の 66 % を占めている（リンク先の円グラフ参照）ので、勝負としてはカタリチームが優勝の本命になりそうですね。

なお新規作だけでなく、既存作のタグ付け参加も OK なので、カクヨムに作品を掲載中の皆様は是非チェックしてみてください。

こんにちは、らくだです。

前回さらりと紹介しましたが、カクヨムの投稿数／PV 数のデータが大変興味深いので、今回はその件を掘り下げます。

画像はこのページから引用しました。

【カクヨム GW 企画】

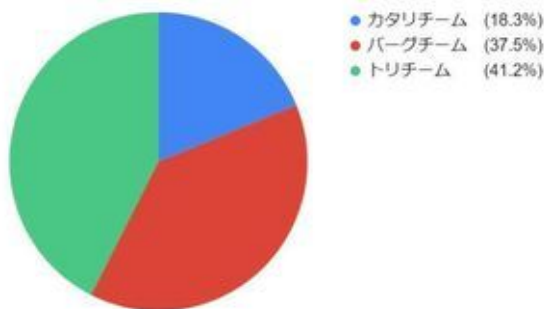
https://kakuyomu.jp/info/entry/kakuyomu_gw2019

青「異世界ファンタジー」

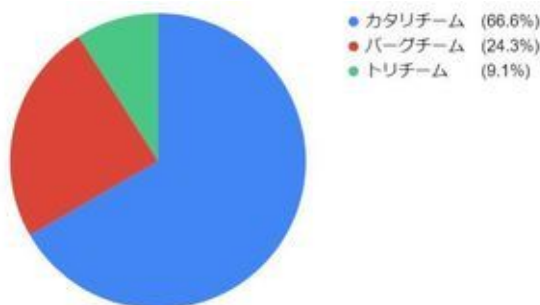
赤「現代ファンタジー」「ラブコメ」「恋愛」「SF」

緑「現代ドラマ」「ホラー」「ミステリー」「エッセイ・ノンフィクション」「歴史・時代・伝奇」「創作論・評論」「詩・童話・その他」

<作品投稿数>



< PV 数 >



作品投稿数だけを見ると、カクヨムはバランス型のサイトと言えますが、実際に読まれているのは圧倒的に異世界ファンタジーというこの事実。

もちろん私もファンタジーは好きですし、人気作品が多いから PV 数も増えるのですが、この企画をキッカケにその他のジャンルもさらに盛り上がって欲しいですね。

こんにちは、らくだです。

某ファッション雑誌に「春だから盛ろう！」と書いてあって、「えっ、春だから盛る（さかる）だって？ずいぶん肉食系だなあ」と思ったんですが、「オシャレを盛る（もる）」の意味だと自己解決した件。

慣れない雑誌は読むもんじゃねえな……。

自分の変態っぷりを再確認して真顔になったわ……。

それはさておき、春は出会いの季節ですから、ちょっとオシャレをして出掛けるのもいいですね。

なお出会いといえば、電撃文庫が新しい作品との出会いを促進するため、「電撃ビビビ・ツイートキャンペーン」という催しを開催中。

簡単に言うと好きな作品の感想をツイートする企画です。

【「電撃ビビビ」ツイートキャンペーン】

<https://dengekibunko.jp/blog/fair/entry-22701.html>

- ・ 募集内容 読んで「ビビビ！」と来た電撃文庫作品の感想
- ・ 開催期間 2019年4月15日（月）～2019年5月31日（金）
- ・ 参加方法 ハッシュタグ「#電撃ビビビ」を付けてツイート
- ・ 抽選賞品 電撃文庫オリジナルクリアファイル（20名様）

あくまで読者向けの企画ですが、やはり電撃は最大手レーベルですし、推し作品がある皆様はツイートしてみてもいいのではないでしょうか。

以上、「電撃ビビビ」ツイートキャンペーンの紹介でした。

本日は平成最後の一日です。

この機会に過去を振り返っている方も多いのではないのでしょうか。

ちなみに平成が始まった時自分は小学生でした。

あれから 31 年も過ぎたという事実に今さらながら驚いています。

思い返せば色々あった平成の記憶。

進学、就職、留学、結婚、出産、死別、そして離婚。

楽しい思い出も、悲しい思い出も、本当にたくさんあります。

こうやって考えると「平成＝青春そのもの」って感じですよ。

まあ私だけじゃなく、同年代の皆様はだいたいそうだと思いますが、平成と共に成長してきたと言っているでしょう。

それでまあ、ここで提案。

あなたが 31 年前の自分に手紙を書くならどんなことを書くでしょうか。

未来の自分への手紙はよくありますが逆バージョンで過去への手紙です。

私ならこんな感じ。

ネタバレ厳禁という制約つきです。

「平成やべえぞ。特に最後の一年な。けどお前は自分で思ってる以上にやれる。どん底から立ち上がって何度でも前を向ける。だから何があっても自信を持って人生を楽しんでくれ」

過去の自分という想定ですが、それは結局「今の自分へのメッセージ」でもあるので、皆様も機会があれば書いてみると面白いんじゃないかと思います。